

出会い ふれあい 助け合い

サロンあべの

VOL.192

障害者の雇用と 就労を考える

<サロン・あべの>5月の出会い

◆ 茅原聖治 ◆

痛みがなくなつた
おかげで、勉強など
物事に集中できる
ようになった。ま
た、普通学校で教育
を受けられたこと
が、後々、社会に出
て生活する上で役
に立っており、ラッ
キーだった。

近年の障害者観

の変容

プ)の各段階に分けられる。
障害者のライフスタイルを
変える3つの要素
ハートビル法の改正なども
あり、物理的なバリアフリー
化が進み、地下鉄の駅をはじめ
め、街の構造が変わってきた。
また、IT(インフォメーション
テクノロジー)の発達に
より、時間的、空間的なハンデ
を埋め、在宅勤務の可能性が
広がってきている。しかし、心
理的・社会的バリアフリーに
関しては、(目に見えないもの
だけに)難しい面も多い。

障害者にとっての「働くこ
と」とは？

2002年5月18日(土)
午後1時から、育徳コミュニ
ティーセンター2階研修室に
おいて、(サロン・あべの)5
月の出会いを開催しました。
今回のパネラーは、サロン・あ
べの紙に1年間にわたり「障
害者の雇用と就労を考える」
を連載していただいております
した茅原聖治さんでした。

国際障害者年を契機として、
ノーマライゼーションの考え
方が広がった。それを軸とし
て、障害者自身の自己決定を
重視する自立生活理念が発展。
更に、障害を理由に差別をさ
れないという機会平等の理念
が推し進められている。

はじめに(自己紹介)

障害の構造

4、5歳頃に若年性リウマ
チを発症。初期治療の失敗、手
術、転倒などの出来事があり、
障害が残ってしまったものの、

障害は、身体的精神的な機能
障害(インペアメント)、能力
低下(ディスアピリティ)、
社会的不利(ハンディキャッ

個の認識の大切さ、生活の
糧を得る手段と生活の安定、
同等の行動と周囲の承認、社
会参加と社会貢献、自己実現
と社会に対する啓発の役割、
などがある。特に、自己実現と
社会に対する啓発の役割には
重要な意味がある。



茅原聖治さん

障害者雇用の過去・現在・未来
 障害者の雇用・就労形態は、一般雇用、保護雇用、生業・自営、福祉的就労（援護就労）、作業活動に分けられる。
 一般雇用は、60年代の好景気に、労働力不足を補うという観点から、比較的障害程度の軽い者の雇用が始まった。しかし、法定雇用率の達成には程遠く、後に、第三セクター方式と呼ばれる保護雇用の形態が生まれた。
 現在でも一般企業、特に大企業になればなるほど、法定雇用率が達成をされていない。また、重度障害者については、

福祉的就労や作業活動など、不安定な仕事に従事をしていく場合が多い。

障害者雇用の経済学

障害者雇用は、好況や不況など経済の偶発的な影響を受けやすい。したがって、短期的視野と長期的視野、費用と便益などの考え方が重要となる。また、人的資本という概念が重要であり、最終的に社会に

出て働くということを考えれば、分離教育には疑問を感じてしまう。つまり、手際の良さや、人（健常者）との付き合い方などを含めた知的能力の獲得には、普通学校における統合教育が望ましく、人的資本の形成ともなるからである。

障害者雇用—資本主義の成熟度のバロメーター—

働くこととは、自己実現で

あり、社会に対する啓発の役割でもある。逆に、企業の側としても、収益のみを追い求めるのではなく、障害者雇用に「別のもの」を見つけたし、支援していく姿勢が必要である。それこそが、成熟した資本主義と言える。参加者14名
 (うえひら☆ゆきお)

はあとが、はろー！

頒布価500円（送料別）

お知らせ

<サロン・あべの>7月の出会い

日時…7月20日（土）午後1時30～
 集合時間＝午後12時
 ＊出発12時30分厳守
 集合場所＝長居障害者スポーツセンター
 1階エレベーター前
 内容…国際障害者交流センター
 「ビッグ・アイ」見学&懇親会
 [堺市茶山台1-8-1 TEL072-290-0900]
 会費…なし（なお、喫茶店で懇親会を
 予定しております。その費用実費
 は個人負担です）
 申し込みと問い合わせ先…
 TEL 06-6691-1028（富田慶子）

今月から、林典生氏の「誰でも参加できる場所へ」が始まります。

林典生（はやしのりお）氏は、大阪府立大学の農学研究科を修了され、知的障害者の授産施設に勤務の後、現在は龍谷大学短期大学部非常勤講師、および、ESC(エレクトリック サービス カンパニー)の研究員をされております。高齢者・障害者のレクリエーションがご専門です。新連載「誰でも参加できる場所へ」をご期待ください。

誰でも参加できる場所へ

第1回

コミュニティガーデンとは

林 典生

新世紀を迎え、30年前には21世紀は明るい未来であるとテレビでは流れていたが、現実の世界は地球環境の問題が拡大しており、かつその狭い世界の中で生きている我々は生きがいの喪失にさいなまれていくのが現状である。我々にとって今必要なことは、いろんな生き物がお互いの違いを認めあつた上で、仲良くしていかないのではないかと思う。つまり、日々のピラミッド・トーナメントに明け暮れている世界から、夜空の星がみんな輝いているようにネットワークで結びついている世界への転換を考えていく必要がある。

今、ピラミッド・トーナメント世界の代表であるアメリカ合衆国において、ネットワークで結びついていく動きが表れているのである。この動きは地域社会の向上を目的として、すでに園芸などの活動を地域住民が主体に行うシステムとしてコミュニティガーデンが設けられている。また、西ヨーロッパ諸国でもコミュニティガーデンとは名乗っていないものの、同じ機能を示すものがある。

日本では様々な人々がコミュニティガーデンの活動を行われ始めており、国の支援が今年度から初めてコミュニティガーデン設置・運営に対して国土交通省の支援が行われようとしているのが現状である。

なぜ、このことを話するかというと、コミュニティガーデンを通じて、誰でも参加できるレクリエーションとはどういうことかというのを考えてみたいとおもいます。

レクリエーションにも様々な要素が含まれており、(1) 原論・歴史や (2) 意識・行動と共通する場面があり、さらに社会福祉学の世界でミクロ系やマクロ系とが述べられるように、(3) 活動・プログラム、(4)

運営管理・サービス、(5) 社会資源・空間、(6) 社会運動・政策のそれぞれの領域が存在するのである。

また、(3) は日々の生活の中でレクリエーションが定着しているかという生活化、(4) は主体的にレクリエーションを行う仲間と集めて行っていくかという組織化、(5) レクリエーションを行える場所や環境を整えられるかという空間化、(6) レクリエーションが行いやすいように諸制度が存在するかという制度化という問題が存在しているのである。

これらの問題はコミュニティガーデンの設置運営を行う上でも存在しており、現場ではそれを解決しようとして、試行錯誤している現状が存在している。

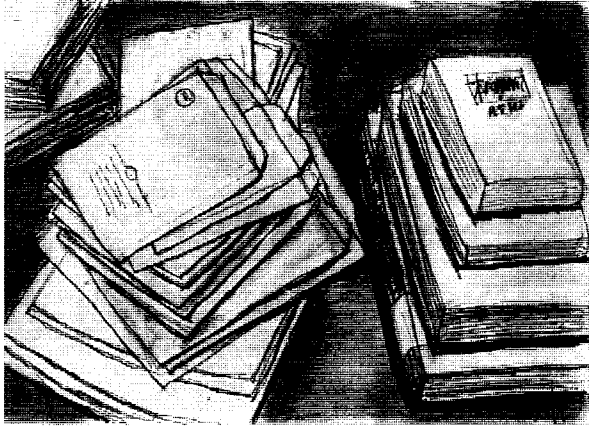
つまり、コミュニティガーデンの歴史や現状を説明しながら、問題点や解決策を明らかにしていくことで、誰もが楽しめることが出来るレクリエーションの方向性を示していきたいと思えます。

次回から欧米及び日本のコミュニティガーデンの歴史の話を行っていきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

★原因の求めかた

帰属理論 (アトリビューション・セオリー) という面白い考え方があつた。物事の原因は何なのかを考える人間の考え方のものを研究する理論である。

たとえば、私のこの部屋は、いつも片付かないままだ。あちこちに物が散らばっているし、整理がつかないままに山積み



になつてゐる書類があつたりする。この原因は何なのだろうと考えると、さまざまなきことが思い浮かぶ。

まずは片付ける時間がないことだ。整理する間もなく、次から次へと郵便物や書類や、その他もろもろのものが増えていく。捨てたり、整理したりするには時間がかかるが、届けられる書類を受け取るには時間がかからない。何もしなければ書類は増える。水が流れないのに、水が注ぎ込まれ続けられれば、当然、水は溢(あふ)れて、一面、水浸(びた)しになる。

また部屋が狭いことも原因だと思ふ。しかし、これでも私は家のなかで一番大きな部屋を独り占めしている。ぜいたくは言えない。

時間がない、部屋が狭いという、この二つの理由は、いずれも私自身の外に原因を求めているということだ。

人は自分の失敗の原因を自分の外に求

めがちだというのが、帰属理論のよく知られた結論のひとつだ。実際、そのほうが気分的に楽に違いない。自分を責めずすむからである。

逆に、失敗の原因を自分に求めるとストレスが高くなる。たとえば自分にはモノを整理する才能がないのだと思つて、がっかりして力が抜けてしまつたらう。

ところが同じように失敗の原因を自分に求めるとしても、自分の努力が足りないからだと考えれば、がっかりするといふより、むしろ自分を奮い立たせるきっかけになるかもしれない。

つまり、部屋を片付けられない原因を自分自身に求めるにしても、自分の意欲さえあれば乗り越えられる「片付ける努力の不足」という原因を考えるか、それとも自分の意欲には無関係にある「片付ける才能の不足」という原因を考えるかによつて、その後の生きかたが変わつてく

るわけである。

自分の外に原因を求めるときも、自分の意欲によって左右されるものを考えるか、そうでないかによって違ってくる。たとえば、先に述べたように、部屋が狭いから片付けられないとすれば、引越さなにかぎり部屋を大きくすることなどでできないから諦(あきら)めるしかない。しかし、時間が足りないから片付けられないと考えるのなら、自分の努力しだいではないかと時間を見つけられそうである。ここでも、また生きかたが変わってくる。

多くの人には意外に聞こえるかもしれないが、実は世の中には出来事の「原因」などというもののほど曖昧で、よくわからないものはない。しかし、出来事には何らかの原因を考えずにはいられないのが人の常なのだ。

何かに失敗しても自分の努力で補える原因を考える人は前に進めるが、自分ではどうにもならない原因を考える人は諦めてしまう。原因をどこに求めるかによって人は自分の生きかたを決めていくのである。(知)

好きなことば

誰でも一つや二つは好きなことばがあると思いますが、私にもあります。

少しオーバーな書き方かも知れませんが、毎日の新聞に目を通していても、また一冊の本を読んでいても必ず印象に残ることばがあり、すぐ好きになってしまいます。もつとも数日で忘れてしまうものもあります。心の琴線に触れるといいですか、心にひびくことばはいつまでも覚えていきます。

いつでしたか、ある新聞を読んでいますとこんなことばに出会いました。

春風接人
秋霜自肃

佐藤一斉 (言志四録より)

晴れのち晴れ ④5

稲垣 恵雄

これは「春風のような優しさで人に接し、秋の霜のごとくきびしく自らの行動をただすこと」という意味です。

ふとふり返ってみますと、私は優しい心で他人に接するどころか、逆に他の人から優しさや思いやりを求めて生きているような気がしてなりません。それに自分の失敗やミスは笑ってごまかすくせに他人の欠点や弱点はすぐ目につき、なかなか許すことができません。要するに「自分にはあまくて優しく、他人にはきびしい」のです。

それだけに反省する意味も込めまして、この「春風接人 秋霜自肃」ということばがすごく好きになり、座右の銘にしたいと思っています。

植物あれこれ

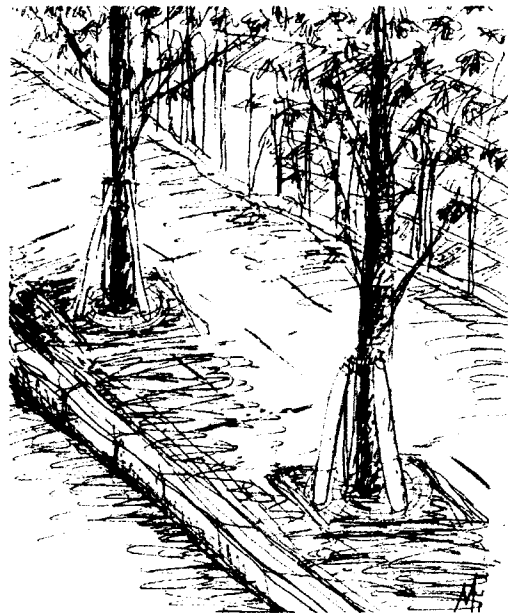
第四十一回

山口康二郎

緑をふやそう

日本最初の樹医で、私に植物のすばらしさを教えてくださった故山野忠彦先生の逸話のなかに、御堂筋の銀杏の木が年々小さくなるという話があります。確か四年前に「山野先生を偲ぶ」で書いた記憶があります。その概略は、先生の関東の知人で、年に二、三回来阪される人が、御堂筋の銀杏の木が年々小さくなっていると言われて、原因を調べてみると、環境の悪化で、枯れていく木が増え、若木に植え替えざるを得ないためだったということでした。

久しぶりに御堂筋の銀杏の木を見に行きましたら、心なしかかつての印象より木が大きくなったように思えました。銀



杏だけでなく、市内の街路樹が全体によく茂っているように見えます。大阪市公園協会の知人にそのことについて尋ねてみましたら、待つてましたとばかり、最近の細やかな管理作業の様子を説明してくれました。特に、樹木の剪定では、緑のポリウムアップを図るため、従来の

ように大きく切り込まず、生育上不要な枝と、通行上どうしても弊害になるものを、を除いては切らないことにしているのだそうです。

木や植物にとつて最も大切なものは、水です。街路樹のポリウムアップには水が欠かせません。市では「一杯の水」を街路樹に！ というスローガンのもとに、市民の皆さんに家庭や会社の近くの街路樹に、バケツ「一杯の水」をあげていただけませんか？ と訴えています。

今植えてある樹木を大きくすること、空気の清浄化をより促進し、温暖化を少しでも和らげることが出来るのです。一市民としてすぐ出来ることだと思えます。特に、これからの暑い日が続くときには、ぜひ、街路樹に「一杯の水」をあげましょう。

さらに積極的に緑を増やしたい方は梅雨の季節の今が、挿し木や、とり木、接ぎ木のチャンスです。

——みんなで創る大阪のみどり——に参加しましょう。

美智子のこんな話

岸田美智子

やっとパソコンが加まりました

日常生活用具給付制度の一部がやっと変わり、時代遅れだったワープロからパソコンに変わるそうです。先日(平成14年5月22日付)大阪市の平成14年度の新規事業の説明会があり、その席で発表されました。日常生活用具給付制度の要綱改定には間に合わず、申請する方は5月以降に各区役所に問い合わせてください、とのことでした。

変更された理由は、ワープロが生産されなくなることが大きいと聞いていますが、私たちの要望の声は届いていなか

ったのででしょうか。なんだか釈然としれない理由だと、落胆しています。

他の制度については目新しいものではなく、全身性障害者介護人派遣事業も支援費制度導入により、どのような影響を具体的に受けるのか、質問も出ましたが、まだ分らないとしか返答がありませんでした。

ただ、私たちの自立生活を支える上で、食事の問題は健康づくりに関係して大きいですが、その食事サービスが制度化されました。その概要を掲載しておきますので、読んでみてください。そして、どんどん利用していきましょ。

○障害者食事サービス事業
(生活支援型食事サービス事業)
の概要

1 目的

栄養のバランスのとれた食事を調理し、訪問により定期的に提供する
とともに、訪問の際、当該利用者の安否を確認し、健康状態に異常等があった

障害者食事サービス事業 実施施設一覧表

区 名	施 設 名	電話・ファクス番号	実施対象区域
西淀川区	セレーナなとり	TEL 6474-0129 FAX 6474-0680	福島区・此花区・西淀川区・淀川区の一部
生野区	インパレスみのり苑	TEL 6756-5200 FAX 6756-6688	生野区
阿倍野区	ライフパートナー・のぞみ	TEL 6651-8610 FAX 6652-8841	阿倍野区
住之江区	アロンティアクラブ	TEL 6682-6620 FAX 6682-6630	住之江区・住吉区の一部
住吉区	ライフサポート協会	TEL 6672-8337 FAX 6672-8399	住吉区の一部
	一隅苑 (エブロングループ)	TEL 6697-0979 FAX 6697-9790	住吉区の一部
東住吉区	特別養護老人ホーム 花嵐	TEL 6699-8787 FAX 6699-6467	東住吉区
平野区	介護老人保健施設 オアシス	TEL 6790-1760 FAX 6790-1768	東住吉区・平野区
西成区	鶴見福祉センターサービスステーション	TEL 6568-0990 FAX 6568-0114	西成区

(平成14年4月現在)

場合には、関係機関への連絡等を行う
ことにより、身体障害者の自立と生活
の確保を図ることを目的とする。

2 対象者

重度身体障害者及びこれに準ずる程度の身体障害者であり、かつ、単身世帯、障害者のみの世帯もしくはこれに準ずる世帯の者。

3 実施設

社会福祉法人等9カ所(別表(平成14年4月1日現在))

4 利用額

賄材料費相当額 1食当たり400円

5 利用手続き

利用者は直接、実施設へ利用の申し込みをします。(生活支援型食事サービス事業利用申請書を提出します)

【連絡先】

自立生活センターMY・D.O.~まいどく
担当 岸田・下村

〒五五八-0001

大阪市住吉区长居西一-九-十二

TEL・FAX 〇六一六六〇九-三二一〇

E-mail

cil-mydo@jasmine.ocn.ne.jp

きさみみずさん

盲導犬訓練所を訪ねて

まだまだ街なかで見かける事の稀な盲導犬ですが、その訓練所を訪ねる機会を得ました。

南河内郡千早赤坂村の山中に三十頭の犬が、使用者になるべく泊まり込んで訓練中の視覚障害者の方たちと共に生活しています。可愛らしい赤ちゃん犬も数頭。彼等はパピーウオーカーと呼ばれるボランティアに一歳になるまで預けられ、人間との共同生活に慣れ、盲導犬としての基礎的な躰を受けます。情の移った頃に手放す寂しさに、盲導犬に適さない場合に引き取る事が出来て喜ぶ人もいるとか、複雑ですね。

訓練の内容は、段差や角を使用者に知らせる他、障害物に出会った時に自分以外に使

用者が歩行出来るだけの道幅を確保するなど。また、歩行以外の時は静かに待機する事や仕事中は周りの誘いに乗らない事が盲導犬になる大切な要素で、優秀な血筋の犬でも六、七十頭のうち三十頭くらいしか卒業出来ないそうです。八年ほどの勤めを終えたあとは希望者にひきとられて余生を送り、亡くなったあとのお骨を納める所が敷地内にあり銅像が建てられていました。

全国に百八十ペアが存在するそうですが、街なかでハーンネスをつけた彼等の雄姿をもっと目に出来るようになれば、と思います。その時は決して仕事の邪魔をすることなく、そっと見守りたいと思います。

(表谷恵美子)



サロン隣組ニュース

■「サロン淀川」7月の出会い

日時:7月21日(日)午後1時30分~4時
 場所:淀川区民センター「やすらぎ」
 大阪市淀川区三国本町2-14-3
 内容:甘酸っぱいリンゴ飴の挑戦
 ~子供の頃、近くのお宮さんの夜店で買ったリンゴ飴、
 リンゴ飴のレシピを見ながら作ってみませんか~
 会費:なし
 問い合わせ先:淀川区社協(ボランティア・ビューロー)
 ☎06-6394-2900
 E-mail:sraji@ris.seinet.ne.jp

■「サロン・ひらの」7月の出会い

日時:7月27日(土)午後1時30分~4時
 場所:にこにこセンター(大阪市平野区平野東2-1-30)
 内容:ビデオ鑑賞(内容未定)
 参加費:1人100円
 問い合わせ先:平野区ボランティア・ビューロー
 大西 ☎06-6795-2200

■「サロン・にし」7月の出会い

日時:7月13日(土)午後1時30分~4時
 場所:西区ボランティア・ビューロー室
 大阪市西区新町4-5-14 6階(西区役所隣)
 地下鉄=西長堀駅4-A号出口からすぐ
 市バス=地下鉄西長堀駅からすぐ
 内容:おもちゃ図書館で、なあに!
 パネラー:おもちゃ図書館ポップコーンの方々
 会費:なし
 問い合わせ先:宮脇 ☎06-4394-5353
 FAX06-4394-5354

■「ウイズ東淀川」7月の出会い

日時:7月14日(日)午後1時30分~4時
 場所:東淀川区民会館
 大阪市東淀川区東淀路1-4-53 ☎06-6379-0700
 内容:私の自己表現 一絵と矢歌と障害と~
 ~みんなで日常生活を矢歌で表現してみましよう!~
 講師:森田真千子氏(世界身体障害者芸術家協会正会員、
 口語歌「未来山脈」所属)
 会費:なし
 問い合わせ先:鈴木昭二 ☎06-6340-3082
 FAX06-6340-3012

■「サロンいたみ」7月はお休みです。

朗読テープのご案内

朗読グループ「糸でんわ」のご協力で(サロン・あべの)紙第191号の録音テープが出来ました。

■朗読テープ文庫

- (a) (サロン・あべの)紙は、第1号より第191号までそろっています。
- (b) (サロン・あべの)十周年記念誌「はあとが、はろー！」
- (c) 絵本「未知の記憶」(作・絵 中川勝彦)
- (d) 「ラジオたんば」放送「(サロン・あべの)平成7年5月の出会い」放送分(30分)
- (e) エッセー集「逃げた『ヨナ』~ボランティア活動の周辺~」(岡本栄一著=糸でんわ音訳)
- (f) 「キミたちだけじゃ困るんだ~身障者だけで旅した十余年~」(山田誠1995・2・22著=糸でんわ音訳)
- (g) 「金子みすずへの旅」(島田陽子著=糸でんわ音訳)
- (h) 「夕やけ空のオニヤンマ」(牧口一三著=糸でんわ音訳)
- (i) 「ガベちゃん先生の自立宣言」(曾我部教子著=糸でんわ音訳)
- (j) 「セルフヘルプグループ」(岡知史著=糸でんわ音訳)
- (k) 「名物 天王寺かぶら」(猿田博創作 難波利三監修=大阪市立天王寺図書館制作)
- (l) 「知らされない愛について」(岡知史著=ほけっと音訳)
- (m) 「愛 ひとり旅」(奥田真祐美著=糸でんわ音訳)
- (n) 「奥田真祐美のシャンソン手帳」(奥田真祐美著=糸でんわ音訳)
- (o) 「もうちょっと知っとく? 私たちの阿倍野」(難波りんご著=糸でんわ音訳)
- (p) 「猫とシャンソン」(奥田真祐美著=糸でんわ音訳)
- (q) 「ほんの少しの神に近い部分」(岡知史著=糸でんわ音訳)
- (r) 「勁くしずかに」(河野勝行編・著=糸でんわ音訳)

ご希望の方には、ダビング、または貸し出しをしますので、富田(☎06・6691・1028)まで。



さろん亭へ品物の提供をお願いします

「さろん亭」の開店が近づいてきました。「さろん亭」で一番好評でよく売れるのが、石鹸、タオル。缶詰・瓶詰など食品類。そして、つぎが食器・家庭用品です。売れ筋の品物の提供をお願いします。

品物をご連絡くだされば取りにうかがいます。またこわれるものでなければ送料着払いでお送りくださっても結構です。

さろん亭

連絡先：富田慶子 545-0021 阿倍野区阪南町6-3-26 TEL/FAX 06-6691-1028

FROM EDITOR

編集後記

前号に「原稿」を頼まれながら、何の連絡もしないで申し訳ありません。お便りを何度も読み直し、考えすぎて結局書けませんでした。どうも苦手なようです。「出会い」ほんとはいろんな出会いがあるはず。サロンとの出会いはもちろんのこと、スキー、信州白馬、絵などなど…。なのに、ほんとにすみません。お詫びだけでも、と、砂田知美(旧吉岡)さんから。(石)

<サロン・あべの>Vol.192 発行：平成14(2002)年6月15日 定価¥100
編集人：<サロン・あべの>運営委員会 表題：井上憲一・筆 文中イラスト：石田美禰子
事務局：〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方 <サロン・あべの>
TEL・FAX 06-6691-1028 郵便振替口座：サロン・あべの 00950-9-26941
印刷：セルフ社〒546-0044 大阪市東住吉区北田辺町4-23-2 ミスターDビル2階 TEL 06-6719-8212